



エコアクション21
環境活動レポート

対象期間

2021年 12月 1日 ~ 2022年 11月 30日

環境活動レポート作成日

2023年 2月 14日



分類番号	文 書 名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	00 / 09

0. 目 次

表 紙		
0	目 次	P 00
1	事業概要	P 01~02
2	環境方針	P 03
3	環境目標	P 04
4	環境目標の実績	P 05
5	環境活動計画と取組結果及びその評価	P 06
6	次年度の環境目標と環境活動計画	P 07
7	環境関連法規等の遵守状況、評価の結果、違反、及び訴訟等の有無	P 08
8	代表者による全体評価と見直しの結果	P 09

分類番号	文 書 名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	01 / 09

1. 事業概要

1.1 会社概要

商号名称	木田建設株式会社	
代表者名	代表取締役 木田壮一郎	
所在地	〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井179番地2	
連絡先	T E L	(0982) 72-4171
	F A X	(0982) 72-7121
	e-mail	info@kida-kensetsu.co.jp

1.2 環境管理責任者、及び事務局

EA-21責任者	営業部 部長 甲斐秀美
EA-21事務局	土木部 管理課 課長 藤原剛

1.3 事業活動

宮崎県知事許可 (般-23) 第2837号

- ▼土木工事 ▼建築工事 ▼舗装工事 ▼大工工事 ▼管工事 ▼とび・土工工事
- ▼左官工事 ▼鉄筋工事 ▼石工事 ▼屋根工事 ▼板金工事 ▼ガラス工事
- ▼塗装工事 ▼防水工事 ▼造園工事 ▼建具工事 ▼タイル・れんが・ブロック工事
- ▼内装仕上工事 ▼水道施設工事 ▼熱絶縁工事
- ▼鋼構造物工事 ▼しゅんせつ工事 ▼解体工事

1.4 適用範囲

全社、全活動、及び以下事業所

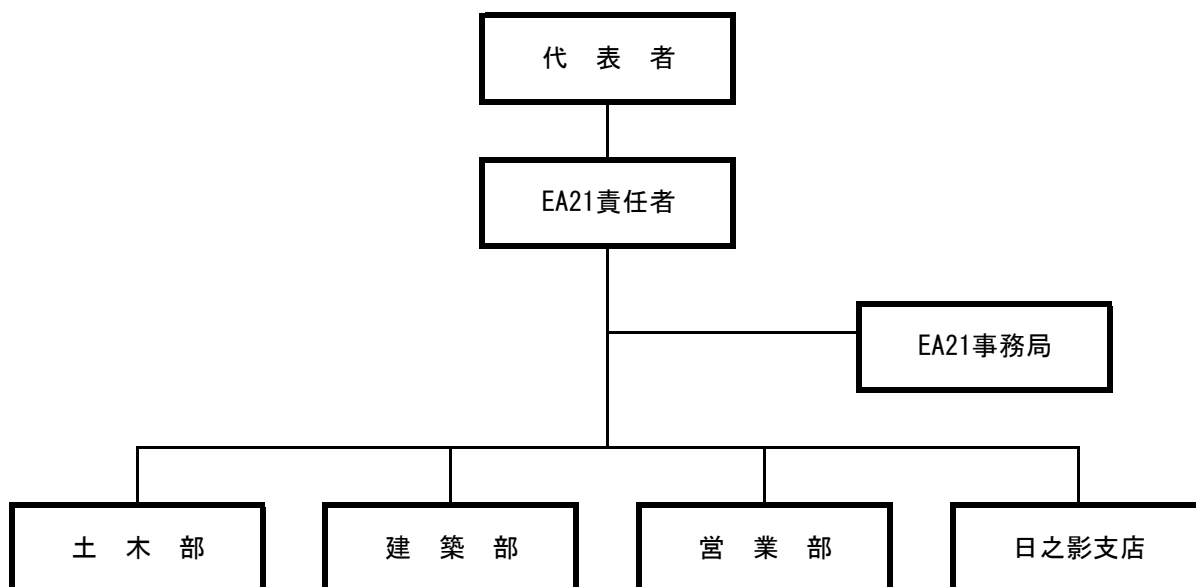
本 社	〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井179番地2
支 店	〒882-0401 宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折12333番地1
資材置場	〒882-0401 宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折12333番地1
作 業 所	宮崎県全般

1.5 事業規模

項 目	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
従業員数	人	22	22	22
工事件数	件	33	26	34
床面積	m ²	455	455	455

分類番号	文 書 名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	02 / 09

1.6 推進組織図



所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	① E A 2 1 責任者の任命 ② 環境経営システムに必要な資源の確保 ③ 環境方針の決定 ④ 環境活動達成状況の評価と見直し ⑤ 環境目標、環境活動計画、及び環境活動レポートの承認 ⑥ 経営における課題とチャンスの明確化
EA21責任者	① 環境活動の確立、取組、維持 ② 情報の取りまとめ、及び報告 ③ 環境目標、及び環境活動計画の策定 ④ 内外部からの苦情、要望等の処理と連絡 ⑤ 環境への負荷、及び取組の自己チェック表承認 ⑥ 環境経営マニュアル、及び環境活動レポート作成 ⑦ 環境関連法規等の取りまとめ（兼）遵守状況チェック表の承認
EA21委員会	① 環境目標及び環境計画の結果確認 ② EA21に関する審議
EA21事務局	① E A 2 1 責任者の補佐 ② 環境経営システムに関する実務全般の所管 ③ 環境負荷、及び取組への自己チェックの実施 ④ 環境関連法規等の取りまとめ（兼）遵守状況チェック表の作成 ⑤ 教育、訓練計画の策定、及び実施 ⑥ 環境文書、及び記録の作成と管理 ⑦ E A 2 1 委員会議事録の作成
各 部 門	① 環境目標達成に向けた実施 ② 環境目標、及び実施項目に対する問題点の是正

分類番号	文書名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	03 / 09

2. 環境方針

環境方針

木田建設株式会社は、地球環境保全を行う上で、低炭素社会及び循環型社会の構築は人類にとって重要課題であることを認識し、低炭素・3R（リユース、リデュース、リサイクル）活動に取り組み、地域社会に貢献することにより、地球と人類の調和のとれた環境づくりと社員にとって働きやすい環境づくりを目指します。

1. 当社は、土木・建築工事、産業廃棄物処理活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め、環境経営システムの継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 当社の事業活動において、環境に与える影響を削減するため、次の事項を重点目標として優先的に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の抑制
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進
- ③ 節水活動による水資源使用量の抑制
- ④ 土木建築物の品質及び環境性能の向上推進

4. 地域での社会貢献活動に努めます。

この環境方針は、当社全従業員に周知徹底し一般に開示します。

制定：2008年9月3日
改定：2019年12月1日



代表取締役 木田 壮一郎

版数	： 第15版		作成日	： 2023年2月14日
----	--------	--	-----	--------------

3. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下の目標を設定した。尚、目標の基準は第12期第14期（2018年12月～2021年11月）の実績平均値とする。

取組項目	場所	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-Co2)			基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
	事務所	7,823.0	7,783.9	7,744.8	7,705.7
	現場	246,673.3	245,439.9	244,206.6	242,973.2
	全体	254,496.3	253,223.8	251,951.3	250,678.9
①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	20,007.8	基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
			19,907.8	19,807.7	19,707.7
②ガソリン使用量の削減 (L)	現場	13,309.6	基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
			13,243.1	13,176.5	13,110.0
③軽油使用量の削減 (L)	現場	83,641.5	基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
			83,223.3	82,805.1	82,386.9
2. 建設廃棄物の削減 (t)	現場	※1 実績把握	仕様書通りの廃棄による再資源化率の向上と実績把握		
3. 一般廃棄物の削減 (kg)	事務所	822.0	基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
			817.9	813.8	809.7
4. 水資源使用量の削減 (m ³)	事務所	557.0	基準値の0.5%削減	基準値の1%削減	基準値の1.5%削減
			554.2	551.4	548.6
6. 環境配慮型施工の推進	現場	※2 ---	環境活動計画の遵守		

※1 建設廃棄物は、受注工事量や設計内容等によって数量が変動し、目標値として設定するのは困難であるため、実績のみを集計し設計書通りに廃棄するなど、関係法令等遵守状況を評価する。

※2 環境配慮型の施工は、「環境活動計画の遵守」を目標とする。

※3 購入電気の二酸化炭素排出係数は九州電力(株)の調整後排出係数0.391を使用しています。

※4 各年度は、当年12月から翌年11月までとする。

分類番号	文 書 名	ページ
KCEA21	環境活動レポート	05 / 09

4. 環境目標の実績

実績値は、2021年度の運用期間（2021年12月～2022年11月）とし、基準値からの削減目標と比較する。

5.1 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
0.5%削減	全 体	253,223.8	206,401.5	122.7%	合 格

※現場の灯油を含めた二酸化炭素の総排出量は、209,070.8kg-CO2 です。

5.2 電気使用量の削減(kWh)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
0.5%削減	事 務 所	19,907.8	18,054.0	110.3%	合 格

5.3 燃料使用量の削減(L)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
ガソリン= 0.5%削減	現 場	13,243.1	9,471.8	139.8%	合 格
軽 油= 0.5%削減	現 場	83,223.3	68,747.2	121.1%	合 格

5.4 建設廃棄物の削減(t)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
設計書通りの廃棄と実績数量把握	現 場	実績の把握	1,225.3 99.6%	---	---

※設計書（施工計画書）通りに廃棄する等、関連法規を遵守して再資源化率の向上を図る。

5.5 一般廃棄物の削減(kg)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
0.5%削減	事 務 所	817.9	813.7	100.5%	合 格

5.6 水資源使用量の削減(m³)

目 標 値	場 所	目 標 値	2021年度	達成率	判 定
0.5%削減	事 務 所	554.2	498.0	111.3%	合 格

5.7 環境配慮型施工の推進

環境活動計画の遵守。

分類番号	文書名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	06 / 09

5. 環境活動計画と取組結果及びその評価

1-(1)	電気使用量の削減	取組結果	評価
①	不要箇所および昼休み時は消灯する	目標を達成できた。夏季、冬季における空調温度管理の徹底、及び定期的なフィルター清掃が達成に効果を発揮したと考えられる。継続して定期的なフィルター清掃を実施し、エアコンの設定温度管理（冷房28℃程度、暖房22℃程度）を実施する。	○
②	空調の適温化の徹底（冷房=28℃程度、暖房=22℃程度）		○
③	照明器具やエアコンフィルターの定期的な清掃		○
1-(2)	燃料使用量の削減	取組結果	評価
①	エコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速および空ぶかしの防止等）の徹底	環境活動計画の実施状況を目標とする。 目標を達成できた。工事量の増加および作業所が遠方になると、どうしても目標達成が困難になるが、車両使用時における相乗りの推進やアイドリングストップ、急発進、空ぶかし禁止を徹底してエコドライブに努める。また、重機も同じくアイドリングストップを徹底して行う。	○
②	車両燃料使用量と走行距離のチェック		○
③	重機の定期点検・整備の徹底		○
④	現場車両の必要最小限化の検討、実施		○
⑤	現場への乗合わせ出勤を行う		○
2	建設廃棄物の削減	取組結果	評価
①	建設資材発注時は使用数量を再チェックし、残余資材の発生を抑制する	設計書（施工計画書）通りの廃棄等、関連法規を遵守した廃棄が確実に実施されている。また、残余資材の発生時は分別処分や再利用が徹底できている。	○
②	廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ依頼する		○
③	出来るだけ廃棄ボックスを増やして細かな分別をする。（再資源化推進）		○
④	端材は持ち帰って保管し、再利用を推進する。		○
3	一般廃棄物の削減	取組結果	評価
①	電子回覧やペーパーレスファックス等を利用し、できるだけ紙を排出しない	環境活動計画の実施状況を目標とする。 目標を達成できた。分別箱（可燃、資源、不燃等）の設置により徹底した分別が実施できた。また、スキャナーによる電子回覧を行いペーパーレス化が徹底されている。	○
②	事務所内のゴミ捨て場を1箇所にする		○
③	コピーは裏紙使用や両面コピー、縮小コピーに努める		○
4	水資源使用量の削減	取組結果	評価
①	定期的な漏水点検	環境活動計画の実施状況を目標とする。 目標を達成できた。継続した漏水点検、節水活動を実施する。	○
5	環境配慮施工の推進	取組結果	評価
①	環境配慮型の建設機械を使用する	低騒音、排ガス規制等の重機を日常的に使用している。又、再生資材の積極的利用、廃棄物発生時の適正処理を実施し、再資源化の推進を実施している。	○
②	可能な限り、環境配慮型材料等を利用した施工の実施		○
③	環境に配慮した設計業務を行い、顧客に提案する		○

分類番号	文書名	ページ
KCEA21	環境活動レポート	07 / 09

6. 次年度の環境目標と環境活動計画

項目と目標値(2022年度)		活 動 内 容	
1. 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 251,951.3 kg-CO2	省エネ活動の徹底と設備等の整備	
	①電気使用量削減 19,807.7 kWh	①	不要箇所および昼休み時は消灯する。
		②	空調の適温化(冷房28℃、暖房22℃程度)を徹底している。
		③	Eアコンフィルターや照明器具の定期的な清掃
	②化石燃料使用量の削減 1. ガソリン 13,176.5 L 2. 軽油 82,805.1 L	①	Eコドライブ(アイドリングストップ、急発進・急加速および空ぶかしの防止等)を徹底する。
		②	車両燃料使用量と走行距離のチェック。
		③	重機の定期点検・整備の徹底。
④		現場車両の必要最小限化の検討、実施。	
⑤		相乗りの推進。	
2. 建設廃棄物の削減 (廃棄量と再資源化率の実績把握)	①	建設資材発注時は使用数量を再チェックし、残余資材の発生を抑制する。	
	②	廃棄物ではできるだけリサイクルできる業者へ依頼する。	
	③	出来るだけ廃棄ボックスを増やして細かな分別をする。(再資源化推進)	
	④	端材は持ち帰って保管し、再利用を推進する。	
3. 一般廃棄物の削減 813.8 kg以内	①	電子回覧やペーパーレスファックス等を利用し、できるだけ紙を排出しない。	
	②	事務所内のゴミ捨て場を1箇所にする。	
	③	コピー用紙等は裏面使用や縮小・両面コピーを推進する。	
4. 水資源使用量の削減 551.4 m ³ 以内	①	水道配管からの漏水を定期的に点検する。	
	①	環境配慮型の建設機械を使用する。	
5. 環境配慮型施工の推進 (環境活動計画の遵守)	②	可能な限り、環境配慮型材料等を利用した施工の実施。	
	③	可能な限り、環境に配慮した設計を行い顧客に提案する。	

分類番号	文書名	ページ
KGEA21	環境活動レポート	08 / 09

7. 環境関連法規等の遵守状況、評価の結果、違反、及び訴訟等の有無

当社の業務に関連する主な法規制は、以下とする。関連法規制の遵守状況確認は、年に一度実施しており、違反、訴訟、及び監督官庁からの指摘や近隣住民からの苦情も皆無であった。また、建設現場での遵守確認は安全パトロールや工程会議などで確認しています。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理法 宮崎県環境基本条例 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の削減 廃棄物の適正処置の確保 産業廃棄物保管基準遵守 産業廃棄物処理委託基準の遵守 産業廃棄物管理票の管理義務 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 建設リサイクル法 宮崎県環境基本条例 	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設資材の再利用、再資源化 分別解体の方法、費用等を契約書に記載 特定資材（コンクリート塊、アスコン塊、木材、ガレキ類等）廃棄物の再資源化 分別解体の計画と説明 特定建設資材廃棄物の再資源化報告 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> みやざき県民住みよい環境保全に関する条例 	<ul style="list-style-type: none"> 空き缶等、ゴミの散乱防止 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 騒音規制法 	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業の実施の届出 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 振動規制法 	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業の実施の届出 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 下水道法 	<ul style="list-style-type: none"> 使用開始時の届出 配水管、排水渠等の設置 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> オフロード法 	<ul style="list-style-type: none"> 排出ガスの廃棄量抑制 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 家電リサイクル法 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄時に指定業者の処理依頼 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 自動車リサイクル法 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル料金の負担、及び廃車時に登録業者に引渡す 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法 	<ol style="list-style-type: none"> 内装仕上げの規制 換気設備の義務付 天井裏等の制限 	遵守確認済
<ul style="list-style-type: none"> フロン排出抑制法 	<ol style="list-style-type: none"> 特定解体工事に係る説明・届出・フロン回収 第一種特定製品（圧縮機出力7.5kW未満）の簡易点検実施 	遵守確認済

版数	： 第15版	 水田建設 株式会社	作成日	： 2023年2月14日
----	--------	--	-----	--------------

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

【代表者による確認】

項目	確認	評価			
		目標達成率	項目	達成率	備考
環境目標の達成状況	☑	目標達成率	二酸化炭素	122.7%	全ての目標を達成できている。
			電気	110.3%	
			ガソリン	139.8%	
			軽油	121.1%	
			水資源	100.5%	
環境活動計画の実施状況	☑	継続して実施できている。			
環境関連法規の遵守状況	☑	関連法規はすべて遵守できている。			
外部からの環境に関する苦情や要望	☑	苦情、要望なし。			
その他	☐				

【代表者による全体評価・見直し指示】

項目	変更必要性		有の場合の指示事項等
	有	無	
環境方針	☐	☑	
環境目標・環境活動計画	☐	☑	
実施体制	☐	☑	
その他	☐	☑	
全体評価・コメント	環境目標のすべてを達成できているが、化石燃料に関しては、工事の内容や種類、現場の遠近、外注等により達成率に変化がある。継続的に取り組みを行い目標達成に向け取り組んでいきたい。		

【活動の推移】

第2期(2008年12月)から第14期(2020年11月)までのエネルギー消費量及びCO2排出量です。CO2の排出量は軽油消費量に比例し、事業活動の約8割を占めています。現場の化石燃料は、工事内容によって変動しますが、削減活動は徹底しています。

